

公道でのデータ収集のお知らせ（東京大学）

国立大学法人 東京大学 高齢社会総合研究機構では「国立研究開発法人 科学技術振興機構 戦略的イノベーション創出推進プログラム 高齢者の自立を支援し安全安心社会を実現する自律運転知能システム」（以下、Sイノベ事業）の実証実験で、複数の研究機関・民間企業と共同で、高齢ドライバーの運転特性と受容性把握、外界環境認識技術の開発を目的に、走行中の車両データを収集します。

上記のSイノベ事業の中で、東京大学は現在研究中の自動車制御介入システムに対する高齢ドライバーの受容性とシステム作動時における車両挙動変化を調査し、システム改良指針と適切な運用方法の検討を担当します。また、このシステム開発の一環として、外界環境認識技術の開発と性能向上も担当しております。

－実証実験の概要－

1. データ収集の概要： 実証実験実施中を行っている旨の表示をした車両に各種センサーを搭載しセンシングデータを収集するとともに、システムの性能検証やドライバーの運転特性検証のために必要な実画像を取得するため、車載用カメラでの撮影を行います。

2. 実施期間： 2018年10月1日より2020年3月まで、断続的なデータ収集を予定しています。

3. 実証実験エリア： 東京大学柏の葉キャンパス周辺を中心とした、日本国内

4. 補足事項：

(1) 車外センサーによる物体検知行為や車載用カメラによる撮影は、公道上の人や車両などの物体、および検証用車両の走行上の安全性に影響を及ぼしません。

(2) 本実証実験により得られたセンサーデータや画像データはシステムの性能検証やドライバーの運転特性検証を目的とするものであり、周囲の皆さまを特定するものではありません。センサーデータや画像データは利用者限定で管理され、学内での研究用途に限って用いられます。共同研究企業などに、性能検証のために提供される場合は個人情報保護について契約で管理いたします

本件に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

国立大学法人 東京大学 高齢社会総合研究機構 担当：松實

電話番号：04-7136-6686

メールアドレス：r.matsumi@iog.u-tokyo.ac.jp